

The Faculty of Art and Design  
University of Toyama

# Teacher's gallery

紀要ギャラリー：教員作品

---

P.48 安達博文

---

P.50 小川太郎

---

P.52 沖 和宏

---

P.54 貴志雅樹

---

P.56 後藤敏伸

---

P.58 小松研治

---

P.60 齊藤晴之

---

P.62 清水克朗

---

P.64 高島圭史

---

P.66 高橋誠一

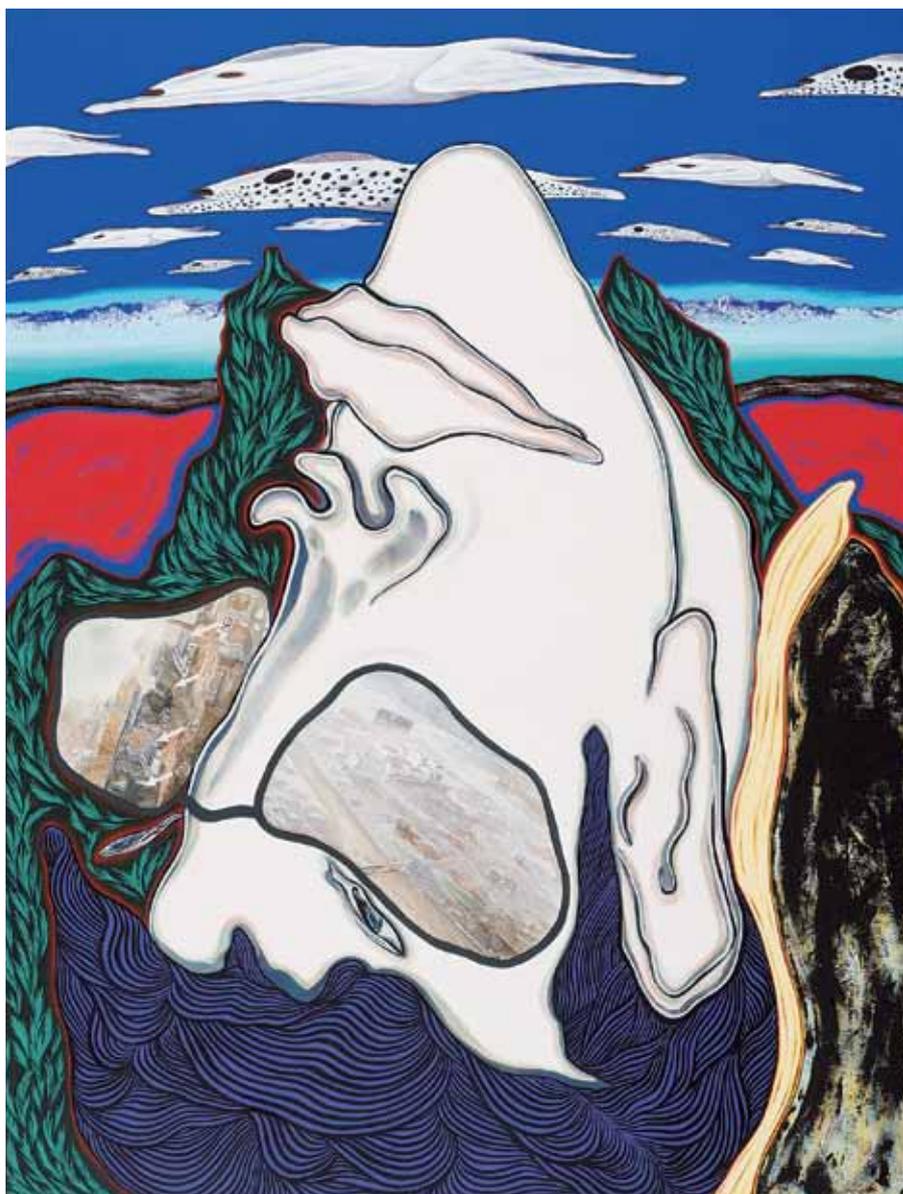
---

P.68 内藤裕孝

---



教員名：  
安達 博文  
Hirofumi Adachi  
専門分野：  
絵画



題名 : 時の符-X  
 大きさ : 259.0cm×194.0cm  
 素材 : テンペラ・アクリル・岩彩・水彩・パネル白亜地  
 制作年 : 2011年  
 発表展覧会 : 第85回国展  
 場所 : 国立新美術館、他



題名 : 時の符-VIII  
大きさ : 259.0cm×194.0cm  
素材 : テンペラ・アクリル・岩彩・水彩・パネル白亜地  
制作年 : 2010年  
発表展覧会 : 第84回国展  
場所 : 国立新美術館、他



教員名：  
小川 太郎  
Taro Ogawa  
専門分野：  
漆工芸



作品名 : 乾漆朱塗合子「螺」  
寸法 : W250×D250×H145  
素材 : 漆、麻布、紙、  
制作年 : 2011年  
発表場所 : 第28回日本伝統漆芸展



作品名 : 乾漆平文食籠  
寸法 : W195×D195×H100  
素材 : 漆、麻布、紙、銀、青金、夜光貝  
制作年 : 2010年  
発表場所 : 第49回日本伝統工芸富山展



教員名：  
沖 和宏  
Kazuhiro Oki  
専門分野：  
視覚デザイン



作品名 : 富山大学 新設大学院研究科 出願募集広告  
寸法 : h.1,112×w.1,912mm  
仕様 : 屋外型 LED 外照看板  
設置場所 : JR 富山駅仮南口  
制作年 : 2010 年  
実施年 : 2010 年 12 月～ 2011 年 1 月





front jacket (p1)



disk label



back card (no disk / on disk)



back card (out side)



jacket (p1, p5, p6 / p2~p4)



sp-caps

作品名：オムニバス・アルバム『Butterfly effect 2』CDジャケット・デザイン  
仕様：ジャケット (h.119.5×w.121mm / 3つ折り/両面 / 4c プロセスカラー)  
バックカード (h.117.5×w.150mm / 両面 / 4c プロセスカラー)  
ディスクレーベル (φ120mm / 片面 / 4c プロセスカラー)  
販促用オビ (h.120×w.70.5mm / 3つ折り/片面 / 4c プロセスカラー)  
制作：ARAWAGINO RECORDS (Japan)  
制作年：2010年



教員名：  
貴志 雅樹  
Masaki Kishi  
専門分野：  
建築デザイン



中庭からメインヴォリュームを見る



建物外観 ヴォリュームの分割



2階LDKより中庭を見る

和歌山市に建つ店舗付住宅である。

建物の構成はメインヴォリュームとサブヴォリュームを中庭で分節し、メインヴォリュームの1階店舗、2階LDK、3階に個室を配した。サブヴォリュームの1階は住居玄関、2階は妻の間、3階は夫の間である。構造は1階鉄筋コンクリート造、2・3階は木造の混構造である。

□建築概要

- ・所在地：和歌山県和歌山市
- ・完成年度：2010年8月
- ・用途：店舗付住宅
- ・敷地面積：129.24㎡
- ・建築面積：69.12㎡  
(建ぺい率53.48%、許容90%)
- ・延床面積：180.27㎡  
(容積率139.48%、許容400%)
- ・発表：建築家と家をつくる(彰国社)



教員名：  
後藤 敏伸  
Toshinobu Goto  
専門分野：  
彫刻 環境造形



作品名 : CODON 1008 2010 年  
富山市民プラザギャラリー  
大きさ : H1600×W1000×D600mm  
素材 : 楠  
展覧会名 : 「触展IX」(企画・運営・出品)

鑑賞者の触手を誘発する様な表現の在り方について試行錯誤した結果の形態である。形態そのものや、ディテールに鑑賞者の興味を導き、その意図を感得して欲しいと望む。



作品名 : CODON 1108 2011年  
富山市民プラザギャラリー  
大きさ : H1200×W1000×D1000mm  
素材 : 楠  
展覧会名:「触展X」(企画・運営・出品)

立体作品に対する触察が、鑑賞の重要な一助となることは自明のことではあるが、安全性や管理の観点からは困難も生じる。「触展」はこの問題を排除し十分な鑑賞の機会を全ての鑑賞者に提供するものである。



教員名：  
小松 研治  
Kenji Komatu  
専門分野：  
木材造形



大きさ：H470×W815×D380mm

素材：楠、杉、アオハダ、他

技法：指物

制作年：平成 21 年

発表場所：東京南青山「ギャラリー 5610」

作品解説：本作品 3 点は、各年で開催している個展「愚者の楽園— 10 人の面々—」で発表したものの一部で、家の形を造形することによって、住人の個性的な人物像を表現したものである。自身の利益だけに強い関心を寄せる個性的な人々の集まりは、やがて愚かな楽園状態を作り出すという寓話を題材としている。



大きさ：H600×W830×D780mm

素材：楠、神代櫟、桐 他

技法：指物



大きさ：H790×W800×D330mm

素材：楠、会津桐、神代杉 他

技法：指物



教員名：

齊藤 晴之  
Haruyuki Saito

専門分野：

工芸美術、漆造形、立体造形



漆立体

題名：「創拓に想う」 工芸美術

寸法：75×60×23cm（縦・横・奥行）

材質：エポキシ樹脂 和紙 漆

技法：インダストリアルクレー原型 樹脂乾漆 色漆 和紙肌

発表：第50回記念日本現代工芸美術展【本会員出品】 2011年3月16日～4月4日

会場 金沢21世紀美術館

主催：(社)現代工芸美術家協会

人が作る造形にはいろいろな意味が託される。想いを込めたその形から  
時間をかけて 自然がそれらを侵食し 元の素材の在り様に戻して行く。  
そのものをとり巻く 空気の流れが 新たにそこに刻まれて  
過ぎて行った時間がもう一つの想いとなって そこに現れる。  
刻まれた意図が 和紙の肌と漆の質感に助けられて 私の想いの軌跡となる。



漆立体

題名：「想い遙かに」 工芸美術

寸法：82×61×26cm（縦・横・奥行）

材質：エポキシ樹脂 和紙 漆

技法：インダストリアルクレー原型 樹脂乾漆 色漆 和紙肌

発表：第43回日展（日本美術展覧会）第4科【工芸美術】無鑑査出品

会期：2011年10月28日～12月4日

会場：新国立美術館

主催：日展

自然の営み 大いなるものへの畏敬の念を形にする。



教員名：  
清水 克朗  
Katsuro Shimizu  
専門分野：  
金属工芸



作品題名：K氏の印象  
作品仕様：大きさ W90×D90×H230mm  
素材：青銅  
技法：石膏鑄造  
発表場所：「日本の鑄金 いものかたち '11  
—とけた金属から生まれる藝術」  
2011年10月4日～16日  
埼玉県立近代美術館



作品題名：喜寿  
作品仕様：大きさ W170×D20×H170mm  
素材：青銅  
技法：込型鑄造  
発表場所：「日本の鑄金 いもののかたち '11  
—とけた金属から生まれる藝術」  
2011年10月4日～16日  
埼玉県立近代美術館



教員名：  
高島 圭史  
Keishi Takashima  
専門分野：  
日本画



タイトル：「旅の記憶」  
寸法 : 162×162cm  
技法 : 日本画  
素材 : 和紙、岩絵具  
制作年 : 2010年  
発表場所：再興第95回院展  
(三越日本橋店・東京、他)  
その他 : 再興第95回院展奨励賞



タイトル：「きいろいひと」  
寸法：45.5×53cm  
技法：日本画  
素材：和紙、岩絵具、金箔  
制作年：2010年  
発表場所：第3回次世代会  
(岩勝画廊・愛知)



教員名：  
高橋 誠一  
Seiichi Takahashi  
専門分野：  
漆工芸



作品名 : 「楕円の黒いわたの漆皿」  
 大きさ : 47×21×4.5、29×20×3.5、22×17×3.5 (cm)  
 素材 : 漆 わた アワビ貝 炭粉  
 制作年 : 平成 22 年  
 発表 : 2010 高岡クラフト展 高岡マテリアル賞受賞  
 作品解説 : わたに生漆を染み込ませ固めることにより高強度の素地が出来る。その特性を生かしつつ、わたの持つ表情を残した造形により、楕円形の盛り皿を制作した。



作品名 : 「起き上がるもの」

大きさ : 10×10×10cm

素材 : 漆 麻布 発砲スチロール

制作年 : 平成 23 年

発表 : K-HOUSE (東京都文京区) 高橋誠一漆芸展 (個展)

作品解説 : 発砲スチロールを削って造形し、その形を元に、乾漆技法の布着せ工程で使う麻布の端をほぐして糸状にして、あたたかも毛が生えたような造形を行った。中に錘りを仕込んで、起き上がり小法師状にした。



教員名：

内藤 裕孝  
Hirotaka Naito

専門分野：

家具・プロダクトデザイン



作品名：demi+（キャンドルホルダー）

寸法： $\phi$ 130×H47mm

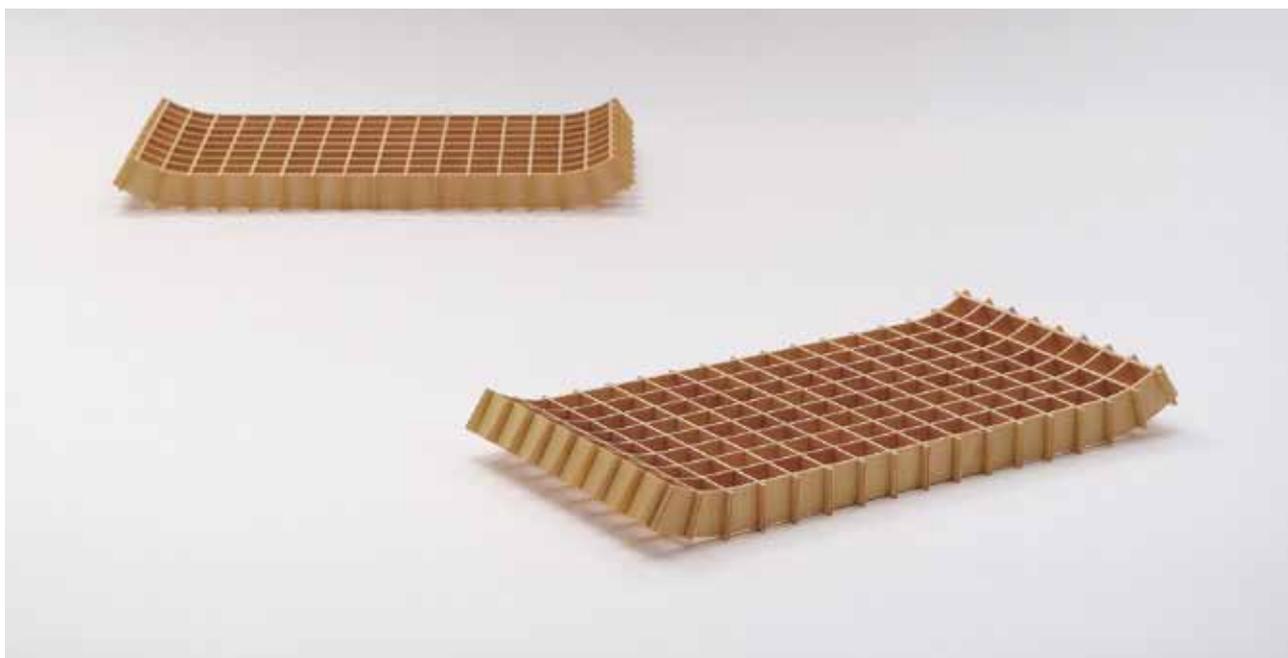
素材：アルミニウム／砂型 casting

制作年：2008年

展覧会：第48回富山県デザイン展（奨励賞）

備考：富山プロダクツ2009選定商品

株式会社ナガエ（高岡市）にデザイン提供をしたインテリアプロダクト。共同開発のなかで企画・デザインを担当。デミタスカップのシルエットをモチーフにしたキャンドルホルダーは、食事を食卓に運ぶイメージをもとに、キャンドルの灯りをサーブするためのデザインに置き換えた。



作品名：BARCA（木製トレー）  
寸法：W380×D190×H40mm  
素材：プライウッド／NC 切削加工  
制作年：2010年  
展覧会：第50回日本クラフト展

物を支える時、必ずしも面である必要はないと考えた。このトレーでは、シンプルで連続性のあるグリッドをモチーフとして、軽量プライウッドに最小限の加工を施し、用途を与えた。使用時はもちろんのこと、使われていない時にも、繊細な美しさを感じられるようなデザインを目指した。

